



## デバイス レポート

---

- [CAR デバイス レポート \(1 ページ\)](#)
- [ゲートウェイ デバイス レポート \(4 ページ\)](#)
- [ルート パターンとハントパイロットのデバイス レポート \(12 ページ\)](#)
- [会議ブリッジ デバイス レポート \(20 ページ\)](#)
- [ボイス メッセージ使用状況デバイス レポート \(23 ページ\)](#)
- [トランク デバイス レポート \(25 ページ\)](#)
- [CAR デバイス レポートの結果 \(28 ページ\)](#)

## CAR デバイス レポート

CAR は、管理者、マネージャ、個々のユーザの 3 つのレベルのユーザのためのレポート機能を提供します。デバイス レポートを生成できるのは、管理者だけです。

デバイス レポートは、会議ブリッジ、ボイス メッセージ サーバ、ゲートウェイ、トランクなどの Unified Communications Manager 関連のデバイスの負荷とパフォーマンスを追跡します。

## デバイス レポートの概要説明

デバイス レポートは、CAR 管理者が会議ブリッジ、ボイス メッセージ サーバ、ゲートウェイ、トランクなど、Unified Communications Manager 関連のデバイスの負荷とパフォーマンスを追跡するのに役立ちます。ここでは、次のデバイス レポートについて説明します。

- **ゲートウェイ**
  - **詳細** : CAR 管理者が使用できます。ゲートウェイ詳細レポートを使用すれば、特定のゲートウェイでの問題を追跡できます。このレポートは、指定されたゲートウェイを使用したコールのリストを提供します。このレポートを使用すれば、選択したゲートウェイに関する詳細情報を確認できます。ゲートウェイは、システム上のすべてまたは一部の VG200 ゲートウェイといったようにタイプで指定することもできれば、特定のルートパターンを使用するゲートウェイだけといった指定もできます。コールタイプと QoS 値に基づいた検索条件も指定できます。

- 要約：CAR 管理者が使用できます。ゲートウェイ要約レポートは、ゲートウェイを通過したすべてのコールの概要を提供します。また、各カテゴリのコールの総数と継続時間、着信、タンデム、発信の別（Long Distance、Local、International、Others、OnNet）、およびシステム上の各ゲートウェイの各 QoS 値の総コール数も提供します。このレポートを使用して、日々、システムの機能を追跡できます。さらに調査が必要な問題が見つかった場合は、ゲートウェイ詳細レポートを使用します。
  - 使用状況：CAR 管理者が使用できます。ゲートウェイ使用状況レポートは、ゲートウェイの使用率（%）の推定値を提供します。1日の各時間に基づいた使用率、または1週間か1ヶ月のうちの指定した日数ごとの使用率を調べることができます。選択した各ゲートウェイについてレポートが生成されます。このレポートは、ロードバランシングやキャパシティプランニングに使用します（ゲートウェイの使用率に応じて、ゲートウェイを追加または削除する必要性を評価できます）。ゲートウェイは、システム上のすべてまたは一部の VG200 ゲートウェイといったようにタイプで指定することもできれば、特定のルートパターンを使用するゲートウェイだけといった指定もできます。
- ルートパターン/ハントパイロット
    - ルートおよび回線グループ使用状況：CAR 管理者だけがルートおよび回線グループ使用状況レポートを生成できます。このレポートは、選択されたルートおよび回線グループの使用率（%）の推定値を提供します。1日の各時間に基づいた使用率、または1週間か1ヶ月のうちの指定した日数ごとの使用率を調べることができます。選択したルートおよび回線グループについてレポートが生成されます。このレポートを使用すれば、ルートおよび回線グループのキャパシティが使用要件を満たせるだけの十分なものであるかどうかを分析できます。結果に基づいて、追加が必要かどうかを判断できます。ゲートウェイに割り当てられた異なるルートと回線グループまたはルートパターンとハントリストを使用することによりゲートウェイのロードバランシングを行っている場合は、このレポートを使用して、グループ化全体の負荷を見ることができます。このレポートは、特定のルートと回線グループによるゲートウェイのグループ分けのための使用状況情報を生成する便利な方法も提供します。グループには、指定されたルートと回線グループを使用している任意の H.323 フォールバックゲートウェイも含まれます。
    - ルート/ハントリスト使用状況：CAR 管理者が使用できます。ルート/ハントリスト使用状況レポートは、選択されたルート/ハントリストの使用率（%）の推定値を提供します。1日の各時間に基づいた使用率、または1週間か1ヶ月のうちの指定した日数ごとの使用率を調べることができます。選択した各ルート/ハントリストについてレポートが生成されます。このレポートを使用すれば、ルートおよび回線グループのキャパシティが使用要件を満たせるだけの十分なものであるかどうかを分析できます。結果に基づいて、追加が必要かどうかを判断できます。ゲートウェイに割り当てられた異なるルート/ハントリストを使用することにより、ゲートウェイのロードバランシングを行っている場合は、このレポートを使用して、グループ化全体の負荷を見ることができます。このレポートは、特定のルート/ハントリストによるゲートウェイのグループ分けのための使用状況情報を生成する便利な方法も提供します。グループには、指定されたルート/ハントリストを使用している任意の H.323 フォールバックゲートウェイも含まれます。

- ルートパターン/ハントパイロット使用状況：CAR 管理者が使用できます。ルートパターン/ハントパイロット使用状況レポートは、選択されたルートパターン/ハントパイロットの使用率（%）の推定値を提供します。1日の各時間に基づいた使用率、または1週間か1ヵ月のうちの指定した日数ごとの使用率を調べることができます。選択した各ルートパターン/ハントパイロットについてレポートが生成されます。このレポートを使用すれば、選択したルートパターン/ハントパイロットでのシステム使用状況を分析できます。
- ハントパイロット要約：CAR 管理者だけがハントパイロット要約レポートを生成します。CDR ハントパイロットコール要約レポートには指定したハントパイロットのコールの詳細が表示されます。このレポートに表示されるのは、ハントパイロットのコールの概要のみであり、ハントメンバーの情報は含まれません。CAR 管理者は、最大5つのハントパイロット DN に関するレポートを生成できます。
- ハントパイロット詳細：CAR 管理者だけがハントパイロット詳細コールレポートを生成します。このレポートには、ハントパイロット番号（ハントメンバDN）のコールの詳細が表示されます。
- 会議コール詳細：CAR 管理者が使用できます。会議コール詳細レポートでは、会議コールと会議ブリッジに関する詳細情報を生成し、表示することができます。要約レポートは、選択された日付/時間範囲内の会議コールの概要情報を表示しますが、これには個々の会議参加者のコールログに関する情報は含まれません。詳細レポートは、選択された日付/時間範囲内の会議コールに関する詳細情報を表示し、これに個々の会議参加者のコールログに関する情報も含まれます。
- 会議ブリッジ使用状況：CAR 管理者が使用できます。会議ブリッジ使用状況レポートは、会議ブリッジの使用率（%）の推定値を提供します。1日の各時間に基づいた使用率、または1週間か1ヵ月のうちの指定した日数ごとの使用率を調べることができます。システム上のすべての会議ブリッジのレポートが生成されます。このレポートを使用すれば、会議ブリッジ上でのアクティビティを調べて、追加リソースを追加する必要があるかどうかを判断できます。このレポートは、使用パターンを突き止めるのに役立ち、使用パターンの中に再帰的なピークが見つかれば、キャパシティプランニングを行えます。
- ボイスメッセージ使用状況：CAR 管理者が使用できます。ボイスメッセージ使用状況レポートは、ボイスメッセージデバイスの使用率（%）の推定値を提供します。1日の各時間に基づいた使用率、または1週間か1ヵ月のうちの指定した日数ごとの使用率を調べることができます。各ボイスメッセージデバイスについてレポートが生成されます。このレポートを使用すれば、ボイスメッセージデバイス上でのアクティビティを調べて、追加リソースを追加する必要があるかどうかを判断できます。このレポートは、使用パターンを突き止めるのに役立ち、使用パターンの中に再帰的なピークが見つかれば、キャパシティプランニングを行えます。
- トランク使用状況：CAR 管理者が使用できます。トランクの使用状況レポートを作成できるのは CAR 管理者だけです。このレポートでは、デバイスを通じて渡されたコールの期間に基づいてデバイスの使用状況レポートを計算します。このレポートは、時間、日、または月単位で作成できます。選択されたトランクごとにレポートが作成されます。このレポートをキャパシティアセスメントに使用できます。また、トランク経由で接続されて

いるルート グループ、ルート リスト、およびルート パターンの使用状況レポートも生成できます。

## ゲートウェイ デバイス レポート

CAR は、管理者、マネージャ、個々のユーザの 3 つのレベルのユーザのためのレポート機能を提供します。デバイス レポートを生成できるのは、管理者だけです。

デバイス レポートは、会議ブリッジ、ボイスメッセージサーバ、ゲートウェイなどの Unified Communications Manager 関連のデバイスの負荷とパフォーマンスを追跡します。

ゲートウェイ レポートを生成できるのは、CAR 管理者だけです。ここでは、ゲートウェイ詳細レポート、ゲートウェイ要約レポート、およびゲートウェイ使用状況レポートの設定を行う方法を説明します。

### ゲートウェイ 詳細レポートの生成

CAR 管理者だけが、ゲートウェイ詳細レポートを生成できます。ゲートウェイ詳細レポートを使用すれば、特定のゲートウェイでの問題を追跡できます。

この項では、選択したゲートウェイに関する詳細情報を生成する方法、参照する方法、およびメール送信する方法について説明します。

#### 手順

- ステップ 1** [デバイス レポート (Device Reports)] > [ゲートウェイ (Gateway)] > [詳細 (Detail)] を選択します。  
[ゲートウェイの詳細 (Gateway Detail)] ウィンドウが表示されます。
- ステップ 2** レポートに含めることができるゲートウェイのリストを表示するには、[ゲートウェイのリスト (List of Gateways)] ボックスで次のいずれかの作業を実行します。
  - a) [ゲートウェイのリスト (List of Gateways)] ボックス内のすべてのゲートウェイを表示するには、ウィンドウの左側のカラムの [ゲートウェイ タイプ (Gateway Types)] をクリックします。
  - b) [ゲートウェイのリスト (List of Gateways)] ボックス内の特定のゲートウェイ タイプのゲートウェイを表示するには、ウィンドウの左側のカラムの [ゲートウェイ タイプ (Gateway Types)] の横にあるアイコンをクリックします。ツリー構造が展開されて、ゲートウェイ タイプのリストが表示されます。リストからゲートウェイ タイプを選択します。ゲートウェイの名前が [ゲートウェイのリスト (List of Gateways)] ボックスに表示されます。  
(注) [ゲートウェイのリスト (List of Gateways)] ボックスには、選択したゲートウェイ タイプに設定されているゲートウェイが最大 200 個リスト表示されます。

- c) 設定されたルート パターン/ハント パイロットに関連付けられているすべてのゲートウェイを表示するには、ウィンドウの左側のカラムの [ルート パターン/ハント パイロット (Route/Patterns/Hunt Pilots) ] をクリックします。
- d) ゲートウェイ タイプではなく、特定のルート パターンを使用するゲートウェイを表示するには、ウィンドウの左側のカラムの [ルート パターン/ハント パイロット (Route/Patterns/Hunt Pilots) ] の横にあるアイコンをクリックします。ツリー構造が展開されて、ルート パターン/ハントのリストが表示されます。リストからルート パターン/ハントパイロットを選択します。ゲートウェイの名前が、[ゲートウェイのリスト (List of Gateways) ] ボックスに表示されます。

(注) ウィンドウの左側のカラムの [ルートパターン/ハントパイロット (Route Patterns/Hunt Pilots) ] ボックスにルートパターン/ハントリストの名前の一部を入力して、特定のルートパターン/ハントリストを検索することもできます。CAR が、検索文字列に一致するルートパターン/ハントリストを検索します。

**ステップ 3** [ゲートウェイのリスト (List of Gateways) ] ボックスで、レポートに含めるゲートウェイを選択します。

(注) 一度に最大 5 つのゲートウェイのレポートを生成できます。

**ステップ 4** 選択したゲートウェイを [選択されたゲートウェイ (Selected Gateways) ] ボックスのリストに移動するには、下矢印をクリックします。

選択したゲートウェイが、[選択されたゲートウェイ (Selected Gateways) ] ボックスに表示されます。

**ステップ 5** [コールタイプの選択 (Select Call Types) ] 領域で、レポートに含めるコールタイプのチェックボックスをオンにします。次の表にコールタイプを示します。

表 1: コールタイプ別ゲートウェイの詳細

コールタイプ	説明
オン ネット (On Net)	1 つの Unified Communications Manager ネットワークから発信され、トランクを経由して、別の Unified Communications Manager ネットワークで終了する発信コール。CAR の目的として、コールが [CAR ダイアルプラン構成 (CAR dial plan configuration) ] ウィンドウでそのように構成されていれば、すべての発信コールが [オン ネット (OnNet) ] コールに分類される可能性があります。ダイアルプランの設定を参照してください。
ローカル (Local)	エリアコードがないか、またはローカルエリアコードのいずれかを含む番号へ公衆電話交換網 (PSTN) を介してルーティングされる市内電話。

コールタイプ	説明
長距離 (Long Distance)	Unified Communications Manager ネットワークから発信され、PSTN 経由で伝送される長距離電話。
国際 (International)	Unified Communications Manager ネットワークから発信され、PSTN 経由で伝送される国際電話。
着信	Unified Communications Manager ネットワーク外から発信され、ゲートウェイ経由で Unified Communications Manager ネットワークに届く着信コール。
タンデム (Tandem)	Unified Communications Manager ネットワーク外から発信され、ゲートウェイ経由で Unified Communications Manager ネットワークに届き、Unified Communications Manager ネットワークからゲートウェイ経由で外部に転送される着信コール。
その他 (Others)	フリーダイヤル番号、911 などの緊急コールなど、その他のすべての発信コール。

**ステップ 6** [QoSの選択 (Select QoS)] 領域で、レポートに含める音声品質カテゴリのチェックボックスをオンにします。次の表のパラメータが、全音声品質カテゴリの基準を提供します。

表 2: ゲートウェイの詳細の音声品質

音声品質	説明
Good	これらのコールのQoSは、可能な最も高い品質を示します。
Acceptable	これらのコールのQoSは、少し劣化していますが、依然、受け入れ可能な範囲内です。
Fair	これらのコールのQoSは劣化していますが、依然、使用可能な範囲内です。
Poor	これらのコールのQoSは、満足できない品質を示しています。
NA	これらのコールは、確立されているQoSカテゴリのいずれの基準にも一致しません。

**ステップ 7** コール情報を確認する期間の日付範囲を選択します。

(注) 日時の範囲は 1 か月を過ぎないようにしてください。

- ステップ 8** レポートを CSV 形式にするには、[レポート形式 (Report Format)] 領域で [CSV] を選択します。レポートを PDF 形式にするには、[レポート形式 (Report Format)] 領域で [PDF] を選択します。
- ステップ 9** [レポートの表示 (View Report)] をクリックします。
- ステップ 10** レポートをメールで送信する場合は、[レポートの送信 (Send Report)] をクリックします。レポートを送信するには、[メール レポート](#)で説明されている手順を実行します。

## ゲートウェイ要約レポートの生成

CAR 管理者だけが、ゲートウェイ要約レポートを生成できます。このレポートには、ゲートウェイを通過したすべてのコールの要約が示されます。この情報は、ゲートウェイを通過するコールのトラフィックと QoS をモニタするために使用できます。

システムにより自動生成されたレポートを表示することも、新しいレポートを生成することもできます。レポートの自動生成をスケジューリングできるのは、CAR 管理者だけです。詳細については、[CAR システム パラメータ](#)を参照してください。

この項では、ゲートウェイに関する要約情報を生成する方法、参照する方法、またはメール送信する方法について説明します。

### 手順

- ステップ 1** [デバイス レポート (Device Reports)] > [ゲートウェイ (Gateway)] > [要約 (Summary)] を選択します。
- [ゲートウェイの要約 (Gateway Summary)] ウィンドウが表示されます。
- ステップ 2** [使用可能なレポート (Available Reports)] フィールドで、自動生成レポートを選択して (選択可能な場合) [ステップ 6 \(9 ページ\)](#) に移動するか、デフォルト設定の [新規レポートの作成 (Generate New Report)] を使用して [ステップ 3 \(7 ページ\)](#) に移動します。
- ステップ 3** [コール タイプの選択 (Select Call Types)] 領域で、レポートに含めるコール タイプのチェックボックスをオンにします。次の表にコール タイプを示します。
- ヒント** すべてのチェックボックスをオンにするには [すべて選択 (Select All)] をクリックし、チェックボックスをオフにするには [すべてクリア (Clear All)] をクリックします。

表 3: コール タイプ別ゲートウェイの要約

コールタイプ	説明
オン ネット (On Net)	1つの Unified Communications Manager ネットワークから発信され、トランクを経由して、別の Unified Communications Manager ネットワークで終了する発信コール。CAR の目的として、コールが [CAR ダイアルプラン構成 (CAR dial plan configuration) ] ウィンドウでそのように構成されていれば、すべての発信コールが [オン ネット (OnNet) ] コールに分類される可能性があります。ダイアルプランの設定を参照してください。
内部 (Internal)	Unified Communications Manager ネットワークから発信され、同じ Unified Communications Manager ネットワーク (ゲートウェイやトランクは不使用) で終了する、クラスタ内コールを含むコール。
ローカル (Local)	エリア コードがないか、またはローカル エリア コードのいずれかを含む番号へ公衆電話交換網 (PSTN) を介してルーティングされる市内電話。
長距離 (Long Distance)	Unified Communications Manager ネットワークから発信され、PSTN 経由で伝送される長距離電話。
国際 (International)	Unified Communications Manager ネットワークから発信され、PSTN 経由で伝送される国際電話。
着信	Unified Communications Manager ネットワーク外から発信され、ゲートウェイ経由で Unified Communications Manager ネットワークに届く着信コール。
タンデム (Tandem)	Unified Communications Manager ネットワーク外から発信され、ゲートウェイ経由で Unified Communications Manager ネットワークに届き、Unified Communications Manager ネットワークからゲートウェイ経由で外部に転送される着信コール。
その他 (Others)	フリー ダイアル番号、911 などの緊急コールなど、その他のすべての発信コール。



- ステップ 4** [新規レポートの作成 (Generate New Report)] を選択した場合は、レポートを生成する期間の日付範囲を選択します。
- ステップ 5** レポートを CSV 形式にするには、[レポート形式 (Report Format)] 領域で [CSV] を選択します。レポートを PDF 形式にするには、[レポート形式 (Report Format)] 領域で [PDF] を選択します。
- ステップ 6** [レポートの表示 (View Report)] をクリックします。
- ステップ 7** レポートをメールで送信する場合は、[レポートの送信 (Send Report)] をクリックします。レポートを送信するには、[メール レポート](#)で説明されている手順を実行します。

## ゲートウェイ使用状況レポートの生成

CAR 管理者だけが、ゲートウェイ使用状況レポートを生成できます。このレポートには、ゲートウェイの一定期間の使用率 (%) の推定値が示されます。正確な使用率ではありません。たとえば、11 時から 12 時のゲートウェイの使用率は、(その 1 時間にゲートウェイを使用したコールの接続時間の合計) / (1 時間の最大接続秒数 × ゲートウェイ内のポートの最大数 × 選択されている fromDate から toDate までの間の日数) × 100) として計算されます。同様に、終日の使用率を取得する場合も、各時間の使用率がこの方法で計算されます。使用率は、1 日の各時間について、または各週や各月の指定した日数に基づいて調べることができます。

週間使用状況レポートの場合、使用率は、( (1 日にゲートウェイを使用したコールの接続時間の合計) / (各日の最大接続秒数 × 選択されている fromDate から toDate までの日数 × ゲートウェイ内のポートの最大数) × 100) として計算されます。

月間使用状況レポートの場合、使用率は、( (1 日にゲートウェイを使用したコールの接続時間の合計) / (各日の最大接続秒数 × 選択した fromDate から toDate までの日数 × ゲートウェイ内のポートの最大数) × 100) としてシステムによって計算されます。

選択した各ゲートウェイについてレポートが生成されます。

H.323 ゲートウェイの使用率の計算については、[CAR ゲートウェイ設定 (CAR Gateway Configuration)] ウィンドウのポート番号が使用されます。このウィンドウを表示するには、[システム (System)] > [システム パラメータ (System Parameters)] > [ゲートウェイの設定 (Gateway Configuration)] を選択します。H.323 のポート番号は Cisco Unified Communications Manager データベース内では常に 0 であるため、このデータベースから H.323 ゲートウェイのポートの詳細情報を取得することはできません。[CAR ゲートウェイ設定 (CAR Gateway Configuration)] ウィンドウの H.323 ゲートウェイのポート情報は、ユーザが更新する必要があります。

[CAR ゲートウェイ設定 (CAR Gateway Configuration)] ウィンドウで取得できるポート詳細情報は、使用可能なポート詳細情報がないか、Cisco Unified Communications Manager データベースで 0 と表示されているゲートウェイの情報のみであることに注意してください。

システムにより自動生成されたレポートを表示することも、新しいレポートを生成することもできます。レポートの自動生成をスケジューリングできるのは、CAR 管理者だけです。詳細については、[CAR システム パラメータ](#)を参照してください。

この項では、ゲートウェイ使用状況レポートの作成、表示、またはメールでのレポートの送信方法について説明します。

## 手順

**ステップ 1** [デバイス レポート (Device Reports)] > [ゲートウェイ (Gateway)] > [使用状況 (Utilization)] を選択します。

[ゲートウェイの使用状況 (Gateway Utilization)] ウィンドウが表示されます。

**ステップ 2** [レポートの作成 (Generate Reports)] フィールドで、次の表に示すように、時間を選択します。

表 4: [レポートの作成 (Generate Report)] フィールド

パラメータ	説明
時間 (Hour of Day)	ステップ 8 (11 ページ) で指定する期間の各時間の累積使用率を 24 時間形式で表示します。
曜日 (Day of Week)	ステップ 8 (11 ページ) で指定する期間内の曜日における累積使用状況を表示します。
日付 (Day of Month)	ステップ 8 (11 ページ) で指定する期間内の日付における累積使用状況を表示します。

**ステップ 3** [使用可能なレポート (Available Reports)] フィールドで、自動生成レポートを選択して (選択可能な場合) ステップ 10 (11 ページ) に進むか、またはデフォルトの [新規レポートの作成 (Generate New Report)] を使用して ステップ 4 (10 ページ) に進みます。

**ステップ 4** レポートに含めることができるゲートウェイのリストを表示するには、[ゲートウェイのリスト (List of Gateways)] ボックスで次のいずれかの作業を実行します。

- [ゲートウェイのリスト (List of Gateways)] ボックス内のすべてのゲートウェイを表示するには、ウィンドウの左側のカラムの [ゲートウェイ タイプ (Gateway Types)] をクリックします。
- [ゲートウェイのリスト (List of Gateways)] ボックス内の特定のゲートウェイ タイプのゲートウェイを表示するには、ウィンドウの左側のカラムの [ゲートウェイ タイプ (Gateway Types)] の横にあるアイコンをクリックします。ツリー構造が展開されて、ゲートウェイ タイプのリストが表示されます。リストからゲートウェイ タイプを選択します。ゲートウェイの名前が [ゲートウェイのリスト (List of Gateways)] ボックスに表示されます。

(注) [ゲートウェイのリスト (List of Gateways)] には、選択したゲートウェイ タイプに設定されているゲートウェイが最大 200 個リスト表示されます。

- 設定したルート パターン/ハント パイロットに関連付けられたすべてのゲートウェイを表示するには、ウィンドウの左側のカラムの [ルート パターン/ハント パイロット (Route/Patterns/Hunt Pilots)] をクリックします。

- d) ゲートウェイタイプではなく、特定のルートパターンを使用するゲートウェイを表示するには、ウィンドウの左側のカラムの [ルートパターン/ハントパイロット (Route/Patterns/Hunt Pilots)] の横にあるアイコンをクリックします。ツリー構造が展開されて、ルートパターン/ハントのリストが表示されます。リストからルートパターン/ハントパイロットを選択します。ゲートウェイの名前が、[ゲートウェイのリスト (List of Gateways)] ボックスに表示されます。

(注) ウィンドウの左側のカラムの [ルートパターン/ハントパイロット (Route Patterns/Hunt Pilots)] ボックスにルートパターン/ハントリストの名前の一部を入力して、特定のルートパターン/ハントリストを検索することもできます。CAR が、検索文字列に一致するルートパターン/ハントリストを検索します。

- ステップ 5** リストからゲートウェイタイプを選択します。  
ゲートウェイの名前が、[ゲートウェイのリスト (List of Gateways)] ボックスに表示されます。  
(注) [ゲートウェイのリスト (List of Gateways)] ボックスには、選択したゲートウェイタイプに設定されているゲートウェイが最大 200 個表示されます。
- ステップ 6** [ゲートウェイのリスト (List of Gateways)] ボックスで、レポートに含めるゲートウェイを選択します。  
(注) 一度に最大 5 つのゲートウェイのレポートを生成できます。
- ステップ 7** 選択したゲートウェイを [選択されたゲートウェイ (Selected Gateways)] ボックスのリストに移動するには、下矢印をクリックします。  
選択したゲートウェイが、[選択されたゲートウェイ (Selected Gateways)] ボックスに表示されます。
- ステップ 8** [新規レポートの作成 (Generate New Report)] を選択した場合は、通話情報を参照する期間の日付範囲を入力します。  
(注) 日時の範囲は 1 か月を過ぎないようにしてください。
- ステップ 9** レポートを CSV 形式にするには、[レポート形式 (Report Format)] 領域で [CSV] を選択します。レポートを PDF 形式にするには、[レポート形式 (Report Format)] 領域で [PDF] を選択します。
- ステップ 10** [レポートの表示 (View Report)] をクリックします。
- ステップ 11** レポートをメールで送信する場合は、[レポートの送信 (Send Report)] をクリックします。レポートを送信するには、[メールレポート](#)で説明されている手順を実行します。

# ルートパターンとハントパイロットのデバイス レポート

CAR は、管理者、マネージャ、個々のユーザの 3 つのレベルのユーザのためのレポート機能を提供します。ルートパターンとハントパイロットのデバイス レポートを生成できるのは、管理者だけです。

デバイス レポートは、会議ブリッジ、ボイスメッセージサーバ、ゲートウェイなどの Unified Communications Manager 関連のデバイスの負荷とパフォーマンスを追跡します。

## ルートおよび回線グループ使用状況レポートの生成

ルートおよび回線グループ使用状況レポートを生成できるのは、CAR 管理者だけです。このレポートは、ルートおよび回線グループの一定期間の最大使用率（そのルートおよび回線グループの下のすべてのゲートウェイの累積使用率）（%）の推定値を提供します。正確な使用率ではありません。この使用率はゲートウェイ使用状況の場合と同じ方法で計算されますが、この計算は、そのルートグループの下のすべてのゲートウェイおよびその回線グループの下のすべての回線の累積使用率を算出します。使用率は、1 日の各時間について、または各週や各月の指定した日数に基づいて調べることができます。選択したルートおよび回線グループのそれぞれについてレポートが生成されます。

システムにより自動生成されたレポートを表示することも、新しいレポートを生成することもできます。レポートの自動生成をスケジューリングできるのは、CAR 管理者だけです。詳細については、[CAR システム パラメータ](#)を参照してください。

ここでは、ルートおよび回線グループ使用状況レポートを生成し、表示したり、メールで送信したりする方法を説明します。

### 手順

- ステップ 1** [デバイス レポート (Device Reports)] > [ルートパターン/ハントパイロット (Route Patterns/Hunt Pilots)] > [ルートおよび回線グループの使用状況 (Route and Line Group Utilization)] を選択します。  
[ルートおよび回線グループの使用状況 (Route and Line Group Utilization)] ウィンドウが表示されます。
- ステップ 2** [レポートの作成 (Generate Reports)] フィールドで、次の表に示すように、時間を選択します。

表 5:[レポートの作成 (Generate Report) ]フィールド

パラメータ	説明
時間 (Hour of Day)	ステップ 8 (13 ページ) で指定する期間の各時間の累積使用率を 24 時間形式で表示します。
曜日 (Day of Week)	ステップ 8 (13 ページ) で指定する期間内の曜日における累積使用状況を表示します。
日付 (Day of Month)	ステップ 8 (13 ページ) で指定する期間内の日付における累積使用状況を表示します。

**ステップ 3** [使用可能なレポート (Available Reports) ]フィールドで、自動生成されたレポートを選択して (選択可能な場合) **ステップ 10 (14 ページ)** に移動するか、デフォルト設定の [新規レポートの作成 (Generate New Report) ]を使用して **ステップ 4 (13 ページ)** に進みます。

**ステップ 4** 特定のルートパターンを使用するルートおよび回線グループだけを選択するには、ウィンドウの左側のカラムの [ルート パターン/ハント パイロット (Route Patterns/Hunt Pilots) ]を選択します。

ツリー構造が展開されて、選択できるルート パターン/ハント リストが表示されます。

(注) ウィンドウの左側のカラムの [ルート パターン/ハント パイロット (Route Patterns/Hunt Pilots) ]ボックスにルートパターン/ハントリストの名前の一部を入力して、特定のルートパターン/ハントリストを検索することもできます。CAR が、検索文字列に一致するルートパターン/ハントリストを検索します。

**ステップ 5** リストからルート パターン/ハント リストを選択します。

そのルート パターン/ハント リストのルートおよび回線グループが、[ルート/回線グループのリスト (List of Route/Line Groups) ]ボックスに表示されます。

(注) [ルート/回線グループのリスト (List of Route/Line Groups) ]ボックスには、最大 200 個のルート グループが表示されます。

**ステップ 6** [ルート/回線グループのリスト (List of Route/Line Groups) ]ボックスで、レポートに含めるルート/回線グループを選択します。

(注) 一度に最大 5 つのルート/回線グループのレポートを生成できます。

**ステップ 7** 選択したゲートウェイを [選択されたルート/回線グループ (Selected Route/Line Groups) ]ボックスのリストに移動するには、下矢印をクリックします。

[選択されたルート/ハントリスト (Selected Route/Hunt Lists) ]ボックスに表示するように選択したルート/ハント リスト。

**ステップ 8** [新規レポートの作成 (Generate New Report) ]を選択した場合は、コール情報を参照する期間の日付範囲を入力します。

(注) 日時の範囲は 1 か月を過ぎないようにしてください。

- ステップ 9** レポートを CSV 形式にするには、[レポート形式 (Report Format)] 領域で [CSV] を選択します。レポートを PDF 形式にするには、[レポート形式 (Report Format)] 領域で [PDF] を選択します。
- ステップ 10** [レポートの表示 (View Report)] をクリックします。
- ステップ 11** レポートをメールで送信する場合は、[レポートの送信 (Send Report)] をクリックします。レポートを送信するには、[メール レポート](#)で説明されている手順を実行します。

## ルート/ハント リスト使用状況レポートの生成

ルート/ハントリスト使用状況レポートを生成できるのは、CAR 管理者だけです。ルート/ハントリスト使用状況レポートは、一定期間のルート/ハントリストの最大使用率（そのルート/ハントリストの下のすべてのゲートウェイの累積使用率）（%）の推定値を提供します。正確な使用率ではありません。そのルートリストの下のすべてのゲートウェイおよびそのハントリストの下のすべての回線の累積使用率が計算されます。

使用率は、1 日の各時間について、または各週や各月の指定した日数に基づいて調べることができます。選択したルート/ハント リストのそれぞれについてレポートが生成されます。

システムにより自動生成されたレポートを表示することも、新しいレポートを生成することもできます。レポートの自動生成をスケジューリングできるのは、CAR 管理者だけです。詳細については、[CDR ロード スケジュールの設定](#)を参照してください。

ここでは、ルート/ハントリスト使用状況レポートを生成し、表示したり、メールで送信したりする方法を説明します。

### 手順

- ステップ 1** [デバイス レポート (Device Reports)] > [ルート パターン/ハントパイロット (Route Patterns/Hunt Pilots)] > [ルート/ハントリストの使用状況 (Route/Hunt List Utilization)] を選択します。
- [ルート/ハントリストの使用状況 (Route/Hunt List Utilization)] ウィンドウが表示されます。
- ステップ 2** [レポートの作成 (Generate Report)] フィールドで、時間を選択します。各パラメータについては、次の表で説明しています。

表 6: [レポートの作成 (Generate Report)] フィールド

パラメータ	説明
時間 (Hour of Day)	<a href="#">ステップ 8 (15 ページ)</a> で指定する期間の各時間の累積使用率を 24 時間形式で表示します。
曜日 (Day of Week)	<a href="#">ステップ 8 (15 ページ)</a> で指定する期間内の曜日における累積使用状況を表示します。

パラメータ	説明
日付 (Day of Month)	ステップ 8 (15 ページ) で指定する期間内の日付における累積使用状況を表示します。

- ステップ 3** [使用可能なレポート (Available Reports) ]フィールドで、自動生成されたレポートを選択して (選択可能な場合) **ステップ 10 (15 ページ)** に移動するか、デフォルト設定の [新規レポートの作成 (Generate New Report) ]を使用して **ステップ 4 (15 ページ)** に進みます。
- ステップ 4** レポートに含めるルート/ハントリストを選択するには、ウィンドウの左側のカラムの [ルートパターン/ハントパイロット (Route Patterns/Hunt Pilots) ]をクリックします。ツリー構造が展開されて、選択できるルートパターン/ハントパイロットが表示されます。
- (注) ウィンドウの左側のカラムの [ルートパターン/ハントパイロット (Route Patterns/Hunt Pilots) ]ボックスにルートパターン/ハントリストの名前の一部を入力することにより、特定のルートパターン/ハントリストを検索できます。CARが、検索文字列に一致するルートパターン/ハントリストを検索します。
- ステップ 5** リストからルート/ハントパイロットを選択します。
- そのルートパターン/ハントリストの名前が、[ルート/ハントリストのリスト (List of Route/Hunt Lists) ]ボックスに表示されます。
- (注) [ルート/ハントリストのリスト (List of Route/Hunt Lists) ]ボックスには、最大 200 個のルート/ハントリストが表示されます。
- ステップ 6** [ルート/ハントリストのリスト (List of Route/Hunt Lists) ]ボックスで、レポートに含めるルート/ハントリストを選択します。
- (注) 一度に最大 5 つのルート/ハントリストのレポートを生成できます。
- ステップ 7** 選択したルート/ハントリストを [選択されたルート/ハントリスト (Selected Route/Hunt Lists) ]ボックスのリストに移動するには、下矢印をクリックします。
- [選択されたルート/ハントリスト (Selected Route/Hunt Lists) ]ボックスに表示するように選択したルート/ハントリスト。
- ステップ 8** [新規レポートの作成 (Generate New Report) ]を選択した場合は、コール情報を参照する期間の日付範囲を入力します。
- (注) 日時の範囲は 1 か月を過ぎないようにしてください。
- ステップ 9** レポートを CSV 形式にするには、[レポート形式 (Report Format) ]領域で [CSV] を選択します。レポートを PDF 形式にするには、[レポート形式 (Report Format) ]領域で [PDF] を選択します。
- ステップ 10** [レポートの表示 (View Report) ]をクリックします。

- ステップ 11** レポートをメールで送信する場合は、[レポートの送信 (Send Report)] をクリックします。レポートを送信するには、[メール レポート](#) で説明されている手順を実行します。

## ルートパターンとハントパイロット使用状況レポートの生成

ルートパターンまたはハントパイロット使用状況レポートを生成できるのは、CAR 管理者だけです。このレポートは、一定期間のルートパターン/ハントパイロットの最大使用度（そのルートパターン/ハントパイロットの下のすべてのゲートウェイの累積使用度）（%）の推定値を提供します。正確な使用度ではありません。そのルートパターンの下のすべてのゲートウェイおよびそのハントパイロットの下のすべての回線の累積使用度が計算されます。使用率は、1 日の各時間について、または各週や各月の指定した日数に基づいて調べることができます。選択したルートパターン/ハントパイロットのそれぞれについてレポートが生成されます。

システムにより自動生成されたレポートを表示することも、新しいレポートを生成することもできます。レポートの自動生成をスケジューリングできるのは、CAR 管理者だけです。詳細については、[CDR ロード スケジュールの設定](#) を参照してください。

ここでは、ルートパターンまたはハントパイロット使用状況レポートを生成し、表示したり、メールで送信したりする方法を説明します。

### 手順

- ステップ 1** [デバイス レポート (Device Reports)] > [ルートパターン/ハントパイロット (Route Patterns/Hunt Pilots)] > [ルートパターン/ハントパイロットの使用状況 (Route Pattern/Hunt Pilot Utilization)] を選択します。

[ルートパターン/ハントパイロットの使用状況 (Route Pattern/Hunt Pilot Utilization)] ウィンドウが表示されます。

- ステップ 2** [レポートの作成 (Generate Report)] フィールドで、時間を選択します。各パラメータについては、次の表で説明しています。

表 7: [レポートの作成 (Generate Report)] フィールド

パラメータ	説明
時間 (Hour of Day)	<a href="#">ステップ 8 (17 ページ)</a> で指定する期間の各時間の累積使用率を 24 時間形式で表示します。
曜日 (Day of Week)	<a href="#">ステップ 8 (17 ページ)</a> で指定する期間内の曜日における累積使用状況を表示します。
日付 (Day of Month)	<a href="#">ステップ 8 (17 ページ)</a> で指定する期間内の日付における累積使用状況を表示します。



- ステップ 3** [使用可能なレポート (Available Reports) ]フィールドで、自動生成レポートを選択して (選択可能な場合) [ステップ 10 \(17 ページ\)](#) に進むか、またはデフォルトの [新規レポートの作成 (Generate New Report) ]を使用して [ステップ 4 \(17 ページ\)](#) に進みます。
- ステップ 4** レポートに含めるルートパターン/ハントリストを選択するには、ウィンドウの左側のカラムの [ルートパターン/ハントパイロット (Route Patterns/Hunt Pilots) ]をクリックします。
- ツリー構造が展開されて、選択できるルートパターン/ハントリストが表示されます。
- (注) ウィンドウの左側のカラムの [ルートパターン (Route Patterns) ]ボックスにルートパターン/ハントリストの名前の一部を入力することにより、特定のルートパターン/ハントリストを検索することもできます。CAR が、検索文字列に一致するルートパターン/ハントリストを検索します。
- ステップ 5** リストからルートパターン/ハントパイロットを選択します。
- そのルートパターン/ハントパイロットの名前が、[ルートパターン/ハントパイロットのリスト (List of Route Patterns/Hunt Pilots) ]ボックスに表示されます。
- (注) [ルートパターン/ハントパイロットのリスト (List of Route Patterns/Hunt Pilots) ]ボックスには、最大 200 個のルートパターン/ハントリストが表示されます。
- ステップ 6** [ルートパターン/ハントパイロットのリスト (List of Route Patterns/Hunt Pilots) ]ボックスで、レポートに含めるルートパターン/ハントリストを選択します。
- (注) 一度に最大 5 つのルートパターン/ハントパイロットのレポートを生成できます。
- ステップ 7** 選択したルートパターン/ハントパイロットを [選択されたルートパターン/ハントパイロット (Selected Route Patterns/Hunt Pilots) ]ボックスのリストに移動するには、下矢印をクリックします。
- 選択したルートパターン/ハントパイロットが [選択されたルートパターン/ハントパイロット (Selected Route Patterns/Hunt Pilots) ]ボックスに表示されます。
- ステップ 8** [新規レポートの作成 (Generate New Report) ]を選択した場合は、コール情報を参照する期間の日付範囲を入力します。
- (注) 日時の範囲は 1 か月を過ぎないようにしてください。
- ステップ 9** レポートを CSV 形式にするには、[レポート形式 (Report Format) ]領域で [CSV] を選択します。レポートを PDF 形式にするには、[レポート形式 (Report Format) ]領域で [PDF] を選択します。
- ステップ 10** [レポートの表示 (View Report) ]をクリックします。
- ステップ 11** レポートをメールで送信する場合は、[レポートの送信 (Send Report) ]をクリックします。レポートを送信するには、[メール レポート](#) で説明されている手順を実行します。

## ハントパイロット要約レポートの生成

Hunt Pilot Summary レポートを生成できるのはCAR 管理者だけです。CDR Hunt Pilot Call Summary レポートには、指定したハントパイロットのコールの詳細が表示されます。このレポートに表示されるのは、ハントパイロットのコールの概要のみであり、ハントメンバーの情報は含まれません。CAR 管理者は、ハントパイロット DN に関するレポートを最大5つまで生成できます。

ここでは、ハントパイロット要約レポートを生成し、表示したり、メールで送信したりする方法を説明します。

### 手順

- 
- ステップ 1** [デバイス レポート (Device Reports)] > [ルートパターン/ハントパイロット (Route Patterns/Hunt Pilots)] > [ハントパイロットの要約 (Hunt Pilot Summary)] を選択します。  
[ハントパイロットの詳細要約 (Hunt Pilot Detail Summary)] が表示されます。
- ステップ 2** [ハントパイロット (Hunt Pilots)] テキストボックスにハントパイロット番号を入力し、Enter キーを押します。  
ハントパイロット番号が、テキストボックスの下に表示されます。または、アイコンをクリックして、選択できるすべてのハントパイロット番号を表示することもできます。
- ステップ 3** 必要なハントパイロット番号をクリックすると、それが [ハントパイロットのリスト (List of Hunt Pilots)] にリストされます。
- ステップ 4** [レポートの作成 (Generate Reports)] ドロップダウンリストから、次のいずれかを選択します。
- a) [時間 (Hour of the day)] : [ステップ 7 \(18 ページ\)](#) で指定した期間について、24 時間の期間内の各時間のコール詳細を表示します。
  - b) [曜日 (Day of the Week)] : [ステップ 7 \(18 ページ\)](#) で指定した期間内に発生した、指定した曜日のコール詳細を表示します。
  - c) [日付 (Day of the Month)] : [ステップ 7 \(18 ページ\)](#) で指定した期間内に発生した、指定した日付のコール詳細を表示します。
- ステップ 5** [使用可能なレポート (Available Reports)] ドロップダウンリストから選択可能なリストのいずれかを選択するか、または [新規レポートの作成 (Generate New Report)] オプションを選択します。
- ステップ 6** 選択可能なハントパイロットのリストから、必要なハントパイロットを選択し、下矢印をクリックします。  
選択したハントパイロットが [選択済みのハントパイロット (Selected Hunt Pilots)] リストに表示されます。
- ステップ 7** 表示されているドロップダウンリストから [開始日 (From Date)] と [終了日 (To Date)] を選択します。
- ステップ 8** 必要なレポート形式を選択します。

[CSV] または [PDF] を選択できます。PDF が、デフォルトのレポート オプションです。

- ステップ 9** [レポートの表示 (View Report) ] をクリックして、レポートを表示します。
- レポートの結果を表示する方法については、[ハントパイロット要約レポートの生成 \(18 ページ\)](#) を参照してください。
- ステップ 10** レポートをメールで送信する場合は、[レポートの送信 (Send Report) ] をクリックします。
- レポートを送信するには、[メールレポート](#) で説明されている手順を実行します。

## ハントパイロット詳細レポートの生成

Hunt Pilot Detailed Call Report を生成できるのは CAR 管理者のみです。このレポートには、ハントパイロット番号 (ハント メンバ DN) のコールの詳細が表示されます。

ここでは、ハントパイロット詳細レポートを生成し、表示したり、メールで送信したりする方法を説明します。

### 手順

- ステップ 1** [デバイス レポート (Device Reports) ] > [ルートパターン/ハントパイロット (Route Patterns/Hunt Pilots) ] > [ハントパイロットの詳細 ( Hunt Pilot Detail) ] を選択します。
- [ハントパイロットの詳細 ( Hunt Pilot Detail) ] ウィンドウが表示されます。
- ステップ 2** レポート生成に、[ハントパイロット ( HuntPilot) ] または [メンバの電話番号 ( MemberDn) ] を選択します。
- ステップ 3** [ハントパイロット ( HuntPilots) ] テキストボックスにハントパイロット番号を入力し、Enter キーを押します。
- ハントパイロット番号が、テキストボックスの下に表示されます。または、アイコンをクリックして、ハントパイロット番号を表示することもできます。
- ステップ 4** ハントパイロットオプションを選択した場合は、必要なハントパイロット番号をクリックします。すると、それが [選択済みのハントパイロット/メンバ電話番号 ( SelectedHuntPilot/MemberDn) ] リストボックスにリストされます。[ステップ 7 \(19 ページ\)](#) に進みます。
- ステップ 5** メンバ DN オプションを選択した場合は、必要なハントパイロット番号をクリックして、その中のメンバ DN 番号をリストします。
- ステップ 6** メンバ DN のリストから必要な DN をクリックすると、それらが [選択済みのハントパイロット/メンバ電話番号 ( SelectedHuntPilot/MemberDn) ] リストボックスにリストされます。
- ステップ 7** [使用可能なレポート ( Available Reports) ] ドロップダウン リストから選択可能なリストのいずれかを選択するか、または [新規レポートの作成 ( Generate New Report) ] オプションを選択します。

- ステップ 8** 表示されているドロップダウンリストから [開始日 (From Date) ] と [終了日 (To Date) ] を選択します。
- ステップ 9** 必要なレポート形式を選択します。  
[CSV] または [PDF] を選択できます。PDF が、デフォルトのレポート オプションです。
- ステップ 10** [レポートの表示 (View Report) ] をクリックして、レポートを表示します。  
レポートの結果を表示する方法については、[ハントパイロット詳細レポートの結果 \(37 ページ\)](#) を参照してください。
- ステップ 11** レポートをメールで送信する場合は、[レポートの送信 (Send Report) ] をクリックします。  
レポートを送信するには、[メール レポート](#) で説明されている手順を実行します。

## 会議ブリッジ デバイス レポート

CAR は、管理者、マネージャ、個々のユーザの 3 つのレベルのユーザのためのレポート機能を提供します。会議ブリッジ デバイス レポートを生成できるのは、CAR 管理者だけです。

デバイス レポートは、会議ブリッジ、ボイスメッセージサーバ、ゲートウェイなどの Unified Communications Manager 関連のデバイスの負荷とパフォーマンスを追跡します。

## 会議コールの詳細の生成

会議コール詳細レポートを生成できるのは、CAR 管理者だけです。会議コール詳細レポートでは、会議コールの詳細情報を生成して表示できます。

ここでは、会議コール詳細レポートを生成し、表示したり、メールで送信したりする方法を説明します。

### 手順

- ステップ 1** [デバイス レポート (Device Reports) ] > [会議ブリッジ (Conference Bridge) ] > [コールの詳細 (Call Details) ] を選択します。  
[会議コールの詳細 (Conference Call Details) ] ウィンドウが表示されます。
- ステップ 2** [レポート タイプ (Report Type) ] ドロップダウン メニューで、[要約 (Summary) ] または [詳細 (Detail) ] を選択します。
- ステップ 3** [使用可能なレポート (Available Reports) ] フィールドで、自動生成レポートを選択して (選択可能な場合) [ステップ 7 \(21 ページ\)](#) に移動するか、デフォルト設定の [新規レポートの作成 (Generate New Report) ] を使用して [ステップ 4 \(20 ページ\)](#) に移動します。
- ステップ 4** [会議タイプの選択 (Select Conference Types) ] で、次の表に示すとおり、レポートに含める会議の種類をチェックボックスをオンにします。

表 8:[会議コールの詳細 (Conference Calls Detail)] フィールド

パラメータ	説明
アドホック (Ad-Hoc)	アドホック会議では、会議コントローラが、決まった参加者だけを会議に参加させることができます。
ミーティング (Meet-Me)	ミーティング会議では、ユーザが会議にダイヤルインできます。

**ステップ 5** [新規レポートの作成 (Generate New Report)] を選択した場合は、会議コールの詳細を見たい期間の日付範囲を入力します。

(注) 日付と時刻の範囲が 1 ヶ月を超えないようにしてください。

**ステップ 6** レポートを CSV 形式にするには、[レポート形式 (Report Format)] 領域で [CSV] を選択します。レポートを PDF 形式にするには、[レポート形式 (Report Format)] 領域で [PDF] を選択します。

**ステップ 7** [レポートの表示 (View Report)] をクリックします。

**ステップ 8** レポートをメールで送信する場合は、[レポートの送信 (Send Report)] をクリックします。レポートを送信するには、[メールレポート](#)で説明されている手順を実行します。

## 会議ブリッジ使用状況レポートの生成

会議ブリッジ使用状況レポートを生成できるのは、CAR 管理者だけです。このレポートは、一定期間の会議ブリッジの使用率 (OnDemand レポートに選択されているすべての会議ブリッジの累積使用率) (%) の推定値を提供します。正確な使用率ではありません。たとえば、11 時と 12 時の間の会議ブリッジの使用率は ( (その 1 時間に会議ブリッジを使用したコールの継続時間の合計) / (選択されている fromDate から toDate までの間の日数 × 会議ブリッジ内の最大ストリーム数 × 1 時間内の最大継続秒数) × 100 ) ) として計算されます。計算された値は、レポートに 11 時と 12 時の間のその時間の使用率として報告されます。使用率は、1 日の各時間について、または各週や各月の指定した日数に基づいて調べることができます。

システムにより自動生成されたレポートを表示することも、新しいレポートを生成することもできます。レポートの自動生成をスケジュールリングできるのは、CAR 管理者だけです。詳細については、[CDR ロード スケジュールの設定](#)を参照してください。

ここでは、各会議ブリッジタイプについて、会議ブリッジ使用状況レポートを生成し、表示したり、メールで送信したりする方法を説明します。

## 手順

**ステップ 1** [デバイス レポート (Device Reports)] > [会議ブリッジ (Conference Bridge)] > [使用状況 (Utilization)] を選択します。

[会議ブリッジの使用状況 (Conference Bridge Utilization)] ウィンドウが表示されます。

**ステップ 2** [レポートの作成 (Generate Report)] フィールドで、次の表に示すように、時間を選択します。

表 9: [レポートの作成 (Generate Report)] フィールド

パラメータ	説明
時間 (Hour of Day)	ステップ 6 (22 ページ) で指定する期間の各時間の累積使用率を 24 時間形式で表示します。
曜日 (Day of Week)	ステップ 6 (22 ページ) で指定する期間内の曜日における累積使用状況を表示します。
日付 (Day of Month)	ステップ 6 (22 ページ) で指定する期間内の日付における累積使用状況を表示します。

**ステップ 3** [使用可能なレポート (Available Reports)] フィールドで、自動生成レポートを選択して (選択可能な場合) ステップ 8 (22 ページ) に移動するか、デフォルト設定の [新規レポートの作成 (Generate New Report)] を使用して ステップ 4 (22 ページ) に移動します。

**ステップ 4** 左側のペインの [会議ブリッジタイプ (Conference Bridge Types)] カラムから、使用状況レポートに含める会議ブリッジタイプを選択します。

指定した会議ブリッジタイプの会議ブリッジが、[デバイスのリスト (List of Devices)] ボックスに表示されます。

(注) このレポートについて、最大 5 つの会議ブリッジを選択します。

**ステップ 5** レポートに含めるすべての会議ブリッジを選択したら、下向き矢印をクリックして、それらを [選択されたデバイス (Selected Devices)] ボックスに追加します。

**ステップ 6** [新規レポートの作成 (Generate New Report)] を選択した場合は、コール情報を参照する期間の日付範囲を入力します。

(注) 日時の範囲は 1 か月を過ぎないようにしてください。

**ステップ 7** レポートを CSV 形式にするには、[レポート形式 (Report Format)] 領域で [CSV] を選択します。レポートを PDF 形式にするには、[レポート形式 (Report Format)] 領域で [PDF] を選択します。

**ステップ 8** [レポートの表示 (View Report)] をクリックします。

**ステップ 9** レポートをメールで送信する場合は、[レポートの送信 (Send Report)] をクリックします。レポートを送信するには、[メール レポート](#)で説明されている手順を実行します。

# ボイス メッセージ使用状況デバイス レポート

CAR は、管理者、マネージャ、個々のユーザの 3 つのレベルのユーザのためのレポート機能を提供します。デバイス レポートを生成できるのは、管理者だけです。

デバイス レポートは、会議ブリッジ、ボイス メッセージサーバ、ゲートウェイなどの Unified Communications Manager 関連のデバイスの負荷とパフォーマンスを追跡します。

## ボイス メッセージ使用状況レポートの生成

ボイス メッセージ使用状況レポートを生成できるのは、CAR 管理者だけです。このレポートは、ボイス メッセージデバイスの一定期間の最大使用率 (%) の推定値を提供します。正確な使用率ではありません。たとえば、11 時と 12 時の間のボイス メッセージポート/ボイス メッセージ DN の使用率は、ボイス メッセージポート/ボイス メッセージ DN を使用したコールの継続時間を使用して計算されます。ボイス メッセージポートの使用度は、(その 1 時間にボイス メッセージポートを使用したコールの継続時間の合計 × 100) / (1 時間内の最大継続秒数 × 選択されている fromDate から toDate までの間の日数) として計算されます。ボイス メッセージ DN の使用率は、(その 1 時間にボイス メッセージ DN を使用したコールの継続時間の合計 × 100) / (1 時間内の最大継続秒数 × 選択されている fromDate から toDate までの間の日数 × ボイス メッセージ DN に接続されているゲートウェイ内の最大ポート数) として計算されます。同じ値が、11 時と 12 時の間の時間の使用度としてレポートに表示されます。

ボイス メッセージングポートのボイス メッセージ使用状況レポートは、新しく生成したレポートとしてしか確認できません。システムが自動的に生成したレポートとして確認することはできません。

ボイス メッセージング DN のボイス メッセージ使用状況レポートは、自動生成することも、新しいレポートとして生成することもできます。レポートの自動生成をスケジューリングできるのは、CAR 管理者だけです。詳細については、[CDR ロード スケジュールの設定](#)を参照してください。



- (注) CAR ボイス メッセージ使用状況レポートは、Cisco Unity および Cisco Unity Connection のボイス メッセージング システムをサポートします。

ここでは、ボイス メッセージ使用状況レポートを生成し、表示したり、メールで送信したりする方法を説明します。

### 手順

**ステップ 1** [デバイス レポート (Device Reports)] > [ボイス メッセージング (Voice Messaging)] > [使用状況 (Utilization)] を選択します。

[ボイス メッセージングの使用状況 (Voice Messaging Utilization)] ウィンドウが表示されます。

**ステップ 2** [レポートの作成 (Generate Report) ]フィールドで、次の表に示すように、時間を選択します。

表 10: [レポートの作成 (Generate Report) ]フィールド

パラメータ	説明
時間 (Hour of Day)	ステップ 10 (25 ページ) で指定した期間について、24時間の期間内の各時間の累積使用率を表示します。
曜日 (Day of Week)	ステップ 10 (25 ページ) で指定した期間内に発生した、指定した曜日の使用度を表示します。
日付 (Day of Month)	ステップ 10 (25 ページ) で指定した期間内に発生した、指定した日付の使用度を表示します。

**ステップ 3** [使用可能なレポート (Available Reports) ]フィールドで、自動生成されたレポートを選択して (選択可能な場合) ステップ 12 (25 ページ) に進むか、デフォルト設定の [新規レポートの作成 (Generate New Report) ]を使用して ステップ 4 (24 ページ) に進みます。

**ステップ 4** ボイス メッセージ DN を選択するには、[ボイス使用状況 (Voice Utilization) ]ペインの [ボイス メッセージング DN (Voice Messaging DN) ]をクリックします。

以前に設定済みのボイス メッセージ DN が表示されます。

(注) このウィンドウに表示されるボイス メッセージング DN は、Cisco Messaging Interface サービスをサポートする VoiceMailDn サービス パラメータで設定したボイス メッセージング DN を表します。パラメータ名 VoiceMailDn を、マシン上で作成したルーティング パターンに設定します。この設定は、Cisco Unified CM の管理を開き、[システム (System) ]をクリックして行います。[サービスパラメータ (Service Parameters) ]をクリックしてから、サービス [Cisco Messaging Interface] を選択します。

**ステップ 5** ボイス メッセージ DN を選択します。

選択した DN が、[DN/ポートのリスト (List of DN/Ports) ]リスト ボックスに表示されます。

**ステップ 6** ボイス メッセージ ポートを選択するには、[ボイス使用状況 (Voice Utilization) ]ペインの [ボイス メッセージングポート (Voice Messaging Ports) ]をクリックします。

設定済みのボイス メッセージ ポートのリストが表示されます。

**ステップ 7** ポートのリストから、ボイス メッセージ ポートを選択します。

選択したポートが、[DN/ポートのリスト (List of DN/Ports) ]リスト ボックスに表示されます。

**ステップ 8** [ボイス メッセージング DN/ポートの選択 (Select Voice Messaging DN/Ports) ]の下向きの矢印をクリックします。



選択したポートが、[選択されたDN/ポート (Selected DN/Ports)] リスト ボックスに表示されます。

**ステップ 9** レポートに含める必要のあるポートを選択し終えるまで、[ステップ 7 \(24 ページ\)](#) と [ステップ 8 \(24 ページ\)](#) を繰り返します。

(注) このレポートには、最大5つのボイス メッセージ ポート/ボイス メッセージ DN を選択できます。デフォルトのボイス メッセージ DN と 4 つのボイス メッセージ ポートを選択したり、5 つのボイス メッセージ ポートを選択したりできます。

**ステップ 10** [新規レポートの作成 (Generate New Report)] を選択した場合は、通話情報を参照する期間の日付範囲を入力します。

(注) 日時の範囲は 1 か月を過ぎないようにしてください。

**ステップ 11** レポートを CSV 形式にするには、[レポート形式 (Report Format)] 領域で [CSV] を選択します。レポートを PDF 形式にするには、[レポート形式 (Report Format)] 領域で [PDF] を選択します。

**ステップ 12** [レポートの表示 (View Report)] をクリックします。

**ステップ 13** レポートをメールで送信する場合は、[レポートの送信 (Send Report)] をクリックします。レポートを送信するには、[メール レポート](#) で説明されている手順を実行します。

## トランク デバイス レポート

CAR は、管理者、マネージャ、個々のユーザの 3 つのレベルのユーザのためのレポート機能を提供します。デバイス レポートを生成できるのは、管理者だけです。

デバイス レポートは、会議ブリッジ、ボイス メッセージ サーバ、ゲートウェイ、トランクなどの Unified Communications Manager 関連のデバイスの負荷とパフォーマンスを追跡します。

トランク レポートを生成できるのは、CAR 管理者だけです。ここでは、トランクの使用状況レポートの設定方法について説明します。

### トランクの使用状況レポートの生成

トランクの使用状況レポートを作成できるのは CAR 管理者だけです。このレポートでは、デバイスを通じて渡されたコールの期間に基づいてデバイスの使用状況レポートを計算します。

このレポートは、時間、日、または月単位で作成できます。選択した日付の範囲で時間ごとのトランクの使用状況が計算されます。たとえば 11 ~ 12 時間のトランクの使用率が、(該当時間内でのトランクを使用したコール時間の合計 / (1 時間の合計秒数 X 1 つのトランク内の最大ポート数 X 選択した開始日から終了日までの日数) X 100) の式を使用して計算されます。

同様に、1週間の曜日ごと使用率を確認する場合、 $(1 \text{ 日の中でトランクを使用したコール時間の合計}) / (1 \text{ 日の合計秒数} \times \text{選択した開始日から終了日までの各曜日の数} \times 1 \text{ つのトランク内の最大ポート数}) \times 100$  の式を使用して使用率が計算されます。

月間の使用状況レポートの場合は、 $(1 \text{ 日の中でトランクを使用したコール時間の合計}) / (1 \text{ 日の合計秒数} \times \text{選択した開始日から終了日までの日数} \times 1 \text{ つのトランク内の最大ポート数}) \times 100$  の式を使用して、1か月の1日あたりの使用状況が計算されます。

選択されたトランクごとにレポートが作成されます。

トランクの使用状況の計算では、CARの[トランクの設定 (Trunk Configuration)]ウィンドウにあるポート数が使用されます。このウィンドウを表示するには、[システム (System)]>[システムパラメータ (System Parameters)]>[トランクの設定 (Trunk Configuration)]を選択します。H.323 ポート番号はデータベースで常に0であるため、H.323 トランクのポートの詳細を Unified Communications Manager データベースから取得できません。ユーザは、CARの[トランクの設定 (Trunk Configuration)]ウィンドウでH.323 トランク ポート情報を更新する必要があります。

CARの[トランクの設定 (Trunk Configuration)]ウィンドウから取得できるポートの詳細情報は、使用可能なポートの詳細がないトランク、または Unified Communications Manager データベースで0を示しているトランクの情報だけです。

この項では、トランクの使用状況レポートの作成、表示、またはメールでのレポートの送信方法について説明します。

## 手順

**ステップ 1** [デバイス レポート (Device Reports)]>[トランク (Trunk)]>[使用状況 (Utilization)]の順に選択します。

[トランクの使用状況 (Trunk Utilization)]ウィンドウが表示されます。

**ステップ 2** [レポートの作成 (Generate Reports)]フィールドで、次の表に示すように、時間を選択します。

表 11:[レポートの作成 (Generate Report)]フィールド

パラメータ	説明
時間 (Hour of Day)	ステップ 7 (27 ページ) で指定する期間の各時間の累積使用率を 24 時間形式で表示します。
曜日 (Day of Week)	ステップ 7 (27 ページ) で指定する期間内の曜日における累積使用状況を表示します。
日付 (Day of Month)	ステップ 7 (27 ページ) で指定する期間内の日付における累積使用状況を表示します。

(注) トランクの使用状況レポートは、自動的に作成されません。

- ステップ 3** [トランクのリスト (List of Trunks) ]ボックスにレポートに含めることができるトランクのリストを表示するには、次のいずれかの作業を実行します。
- a) [トランクのリスト (List of Trunks) ]ボックスにすべてのトランクを表示するには、ウィンドウの左側にある列で[トランク タイプ (Trunk Types) ]をクリックします。
  - b) [トランクのリスト (List of Trunks) ]ボックスに特定のトランク タイプのトランクを表示するには、ウィンドウの左側にある列で[トランクタイプ (Trunk Types) ]の横にあるアイコンをクリックします。ツリー構造が展開されて、トランクタイプのリストが表示されます。リストからトランクタイプを選択すると、そのトランク名が[トランクのリスト (List of Trunks) ]ボックスに表示されます。
- (注) [トランクのリスト (List of Trunks) ]ボックスには、選択したトランク タイプに対して設定されている最大 200 のトランクがリストされます。
- (注) トランク経由で接続されているルート グループ、ルート リスト、およびルート パターンに関するトランクの使用状況レポートを作成できます。
- ステップ 4** リストからトランク タイプを選択します。
- [トランクのリスト (List of Trunks) ]ボックスに、トランク名が表示されます。
- (注) [トランクのリスト (List of Trunks) ]ボックスには、選択したトランク タイプに対して設定されている最大 200 のトランクが表示されます。
- ステップ 5** [トランクのリスト (List of Trunks) ]ボックスで、レポートに含めるトランクを選択します。
- (注) 一度に最大 5 つのトランクに対してレポートを作成できます。
- ステップ 6** 選択したトランクを、[選択されたトランク (Selected Trunks) ]ボックスのリストに移動するには、下矢印をクリックします。
- 選択したトランクは、[選択されたトランク (Selected Trunks) ]ボックスに表示されます。
- ステップ 7** [新規レポートの作成 (Generate New Report) ]を選択した場合は、通話情報を参照する期間の日付範囲を入力します。
- (注) 日時の範囲は 1 か月を過ぎないようにしてください。
- ステップ 8** レポートを CSV 形式にするには、[レポート形式 (Report Format) ]領域で[CSV]を選択します。レポートを PDF 形式にするには、[レポート形式 (Report Format) ]領域で[PDF]を選択します。
- ステップ 9** [レポートの表示 (View Report) ]をクリックします。
- ステップ 10** レポートをメールで送信する場合は、[レポートの送信 (Send Report) ]をクリックします。レポートを送信するには、[メール レポート](#)で説明されている手順を実行します。

## CAR デバイス レポートの結果

この章では、各デバイス レポートのレポート出力情報について説明します。

### ゲートウェイ詳細レポートの結果

ゲートウェイ詳細レポートには、次のフィールドが含まれます。表を参照してください。

表 12: ゲートウェイ詳細レポートのフィールド

フィールド	説明 (Description)
日付	コールがゲートウェイを通過したときの日付。
発信時刻 (Orig. Time)	コールがゲートウェイを通過したときの時刻。
終了時刻 (Term. Time)	コールが終わったときの時刻。
接続時間 (秒) (Duration(s))	コールが接続されていた継続時間 (秒)。継続期間は、Dest Connect の時刻と Dest Disconnect の時刻の差を表します。
発信 (Orig)	コールの発信元の電話番号。
着信 (Dest)	コールの元の発信先電話番号。コールが転送されなかった場合、この電話番号は Final Destination の番号と同じになります。コールが転送された場合、このフィールドには、コールが転送される前の元の宛先番号が入ります。
発信コーデック (Orig. Codec)	コールの発信者がこのコール中に送信側で使用したコーデックコード (圧縮またはペイロードコード)。このコードは、受信側で使用されたコーデックコードとは異なる場合があります。
着信コーデック (Dest. Codec)	コールの宛先がこのコール中に送信側で使用したコーデックコード (圧縮またはペイロードコード)。このコードは、受信側で使用されたコーデックコードとは異なる場合があります。
発信元デバイス (Orig. Device)	コールを発信したデバイスのデバイス名。着信コールおよびタンデム コールの場合、このフィールドにはゲートウェイのデバイス名が入ります。

フィールド	説明 (Description)
接続先デバイス (Dest Device)	コールを受信したデバイスのデバイス名。発信コールおよびタンデム コールの場合、このフィールドにはゲートウェイのデバイス名が入ります。会議コールの場合、このフィールドには会議ブリッジのデバイス名が入ります。
発信 QoS (Orig QoS)	QoS は、そのコールで達成されたコール品質レベルを示します。
着信 QoS (Dest QoS)	コールの着信側で得られた QoS カテゴリ。

図 1: ゲートウェイ詳細レポート (29 ページ) に、PDF 形式の ゲートウェイ詳細レポートのサンプル出力を示します。

図 1: ゲートウェイ詳細レポート

### Gateway Detail

From Date: Jan 1, 2008 Date: Jan 26, 2008  
 To Date: Jan 26, 2008 Page: 1 of 1

Report Generation Criteria-  
 Call Classification: On Net, Local, Long Distance, Incoming, Tandem, Others, International  
 QoS: Good, Acceptable, Fair, Poor, NA

Date	Orig. Time	Term. Time	Duration (sec)	Orig.	Dest.	Orig. Codec	Dest. Codec	Orig Device	Dest Device	Orig. QoS	Dest. QoS
S1/DS1-0@c3725-MGCP.cisco.com											
Jan 24, 2008	5:49:10 PM	5:49:24 PM	10	2000	2001	4	4	SEP003094C3E603	S1/DS1-0@c3725-MGCP.cisco.com	NA	NA

## ゲートウェイ要約レポートの結果

ゲートウェイ要約レポートには、次のフィールドが含まれます。次の表を参照してください。



- (注) ゲートウェイ要約レポートは、ユーザが選択した各コール分類でコールを分離し、QoS タイプに基づいてコールを分割します。

表 13: ゲートウェイ要約レポートのフィールド

フィールド	説明 (Description)
コールの分類 (Call Classification)	コールタイプを示します (内部、着信、およびタンデム)。

フィールド	説明 (Description)
Quality of Service	<p>各音声品質カテゴリのコールの総数で、各ゲートウェイのパフォーマンスの概要を示します。  <b>QoS 値の定義</b>で設定したパラメータが、全音声品質カテゴリの基準を提供します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>Good</b> : これらのコールの QoS は、可能な範囲内で最も高い品質です。</li> <li>• <b>Acceptable</b> : これらのコールの QoS は、少し劣化していますが、許容範囲内です。</li> <li>• <b>Fair</b> : これらのコールの QoS は、品質が劣っていることを示しますが、それでもまだ使用できる範囲内です。</li> <li>• <b>Poor</b> : これらのコールの QoS は、満足できない範囲であることを示しています。</li> <li>• <b>NA</b> : これらのコールは、確立されている QoS カテゴリのいずれの基準にも一致しません。</li> </ul>
Calls	そのコール分類の総コール数を示します。
接続時間 (秒) (Duration (sec))	そのコール分類のすべてのコールの総継続時間を示します。

次の図に、PDF 形式のゲートウェイ要約レポートの出力例を示します。

図 2: ゲートウェイ要約レポート

Quality of Service							
Call Classification	Good	Acceptable	Fair	Poor	NA	Calls	Duration (sec)
S1/DS1-0@c3725-MGCP.cisco.com							
Incoming	0	0	0	0	0	0	0
On Net	0	0	0	0	1	1	10
International	0	0	0	0	0	0	0
Local	0	0	0	0	0	0	0
Internal	0	0	0	0	0	0	0
Long Distance	0	0	0	0	0	0	0
Others	0	0	0	0	0	0	0
Tandem	0	0	0	0	0	0	0
Total for S1/DS1-0@c3725-MGCP.cisco.com	0	0	0	0	1	1	10

280487

## ゲートウェイとルートの使用状況レポートの結果

ゲートウェイ使用状況レポート、ルート グループ使用状況レポート、ルート リスト使用状況レポート、およびルートパターン使用状況レポートは、よく似た出力を提供します。レポートを PDF 形式で表示した場合、使用率が棒グラフで示されます。選択されている各ゲートウェイまたはルートグループについて、グラフが表示されます。表を参照してください。

表 14: ゲートウェイとルートの使用状況レポートのフィールド

フィールド	説明 (Description)
時刻/日付 (Time/Day)	[毎時 (Hourly)] を選択した場合は 1 時間のブロックでの時刻、[週次 (Weekly)] または [月次 (Monthly)] を選択した場合は 1 日のブロック。結果は、開始日と終了日で示された全期間について、各時間または各日の使用率を示します。

フィールド	説明 (Description)
%	ゲートウェイ、ルートグループ、ルートリスト、またはルートパターンの使用率 (%)。このフィールドは、ゲートウェイまたはルートグループまたはルートリストまたはルートパターンの、すべてのゲートウェイが一緒になって任意の時点でサポートできる総コール数に対する使用率 (%) の推定値を示します。

図 3: ゲートウェイ使用状況レポート (32 ページ) に、PDF 形式のゲートウェイ使用状況レポートのサンプル出力を示します。

図 3: ゲートウェイ使用状況レポート

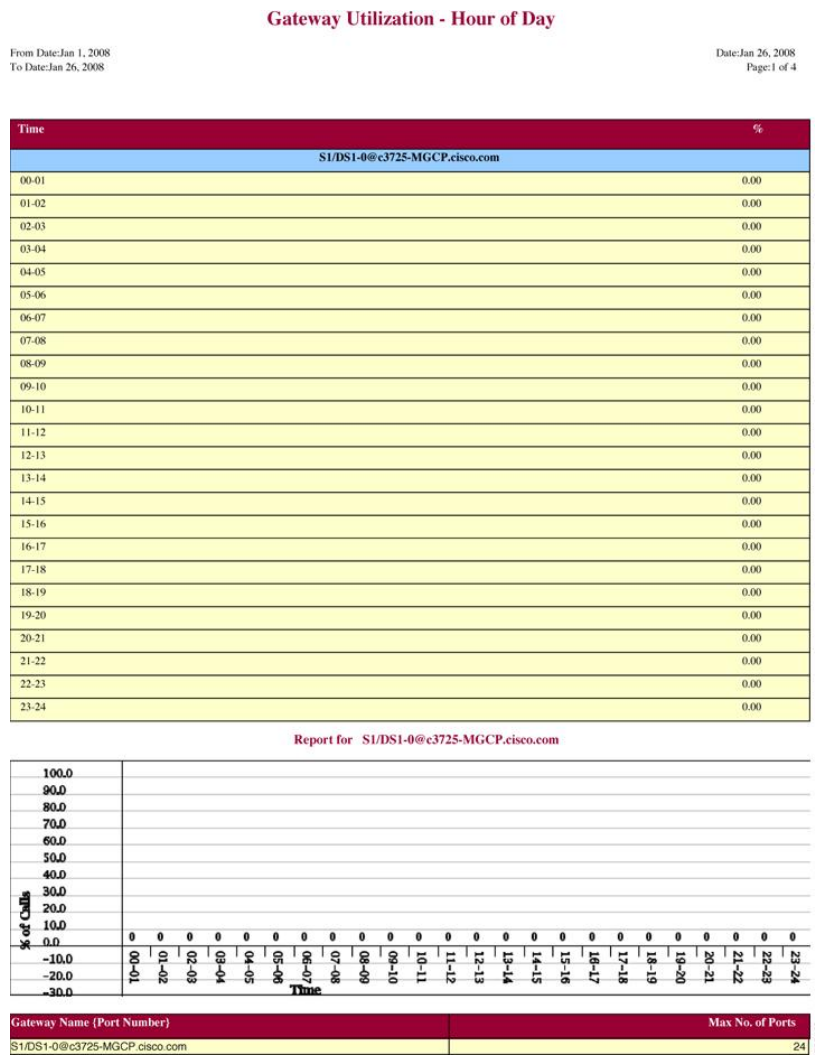


図 4: ルート/ハンドリスト使用状況レポート (33 ページ) に、PDF 形式でのルート/ハンドリスト使用状況レポートのサンプル出力を示します。



図 4: ルート/ハント リスト使用状況レポート

**Route/Hunt List Utilization - Hour of Day**

From Date: Jan 1, 2008  
To Date: Jan 31, 2008

Date: Jan 31, 2008  
Page: 1 of 3

Time	%
testRL	
00-01	0.00
01-02	0.00
02-03	0.00
03-04	0.00
04-05	0.00
05-06	0.00
06-07	0.00
07-08	0.00
08-09	0.00
09-10	0.00
10-11	0.00
11-12	0.00
12-13	0.00
13-14	0.00
14-15	0.00
15-16	0.00
16-17	0.00
17-18	0.00
18-19	0.00
19-20	0.00
20-21	0.00
21-22	0.00
22-23	0.00
23-24	0.00

Route List Name	Gateway Name (Port Number)	Max No. of Ports
testRL	S1/DS1-0@c3725-MGCP.cisco.com	24
	Total number of Ports for testRL	24

280487

図 5: ルートおよび回線グループ使用状況レポート (34 ページ) に、PDF 形式でのルートおよび回線グループ使用状況レポートのサンプル出力を示します。

図 5: ルートおよび回線グループ使用状況レポート

**Route and Line Group Utilization - Hour of Day**

From Date: Jan 31, 2008  
To Date: Jan 31, 2008

Date: Jan 31, 2008  
Page: 1 of 3

Time	%
testRG	
00-01	0.00
01-02	0.00
02-03	0.00
03-04	0.00
04-05	0.00
05-06	0.00
06-07	0.00
07-08	0.00
08-09	0.00
09-10	0.00
10-11	0.00
11-12	0.00
12-13	0.00
13-14	0.00
14-15	0.00
15-16	0.00
16-17	0.00
17-18	0.00
18-19	0.00
19-20	0.00
20-21	0.00
21-22	0.00
22-23	0.00
23-24	0.00

Route Group Name	Gateway Name (Port Number)	Max No. of Ports
testRG	S1/DS1-0@c3725-MGCP.cisco.com	24
	Total number of Ports for testRG	24

図 6: ルートパターン/ハントパイロット使用状況レポート (35 ページ) に、PDF 形式でのルートパターン/ハントパイロット使用状況レポートのサンプル出力を示します。

図 6: ルートパターン/ハントパイロット使用状況レポート

**Route Pattern/Hunt Pilot Utilization - Hour of Day**

From Date: Jan 1, 2008  
To Date: Jan 29, 2008

Date: Jan 29, 2008  
Page: 1 of 3

Time	%
7.XXXX	
00-01	0.00
01-02	0.00
02-03	0.00
03-04	0.00
04-05	0.00
05-06	0.00
06-07	0.00
07-08	0.00
08-09	0.00
09-10	0.00
10-11	0.00
11-12	0.00
12-13	0.00
13-14	0.00
14-15	0.00
15-16	0.00
16-17	0.00
17-18	0.00
18-19	0.00
19-20	0.00
20-21	0.00
21-22	0.00
22-23	0.00
23-24	0.00

Route Pattern Name	Gateway Name (Port Number)	Max No. of Ports
7.XXXX	S1/DS1-0@c3725-MGCP.cisco.com	24
	Total number of Ports for 7.XXXX	24

280496

## ハントパイロット要約レポートの結果

ハントパイロット要約レポートには、次のフィールドが含まれます。表を参照してください。

表 15: ハントパイロット要約レポートのフィールド

フィールド	説明 (Description)
Time	[毎時 (Hourly)] を選択した場合は 1 時間のブロックでの時刻、[週次 (Weekly)] または [月次 (Monthly)] を選択した場合は 1 日のブロック。結果は、開始日と終了日で示された全期間について、各時間または各日のコール詳細情報を示します。

フィールド	説明 (Description)
現存/着信コール数 (No.of Calls Presented/Received)	指定された期間/日に発信または着信したコールの数。  着信したコールの数 = 処理したコールの数 + 破棄したコールの数 + 応答がなかったため転送したコールの数 + 通話中だったため転送したコールの数 + 失敗したコールの数。
処理済み/応答済みコール数 (No.of Calls Handled/Answered)	応答されたコールの数。
中断した (応答もリダイレクトもしなかった) コール数 (No.of Calls Abandoned (Not Answered nor Redirected))	オンフック/オフフックを経過したが、接続もされなければ応答もなかったコールの数。
応答がないために転送されたコール数 (FONA) (No.of Calls Forwarded due to no Answer (FONA))	応答がなかったため転送されたコールの数。
話中のために転送されたコール数 (FOB) (No.of Calls Forwarded due to Busy (FOB))	着信エンドが通話中だったため転送されたコールの数。
失敗したコール数 (No.of Calls Failed)	失敗して通過できなかったコールの数。
ハントパイロット名 (Hunt Pilot Name)	使用可能なハントパイロットの名前のリスト。
回線番号 (Line Number)	ハントメンバの回線番号のリスト。

図 7: ハントパイロット要約レポート (37 ページ) に、PDF 形式のハントパイロット要約レポートの出力例を示します。

図 7:ハントパイロット要約レポート

Hunt Pilot Summary - Hour of Day

From Date:Nov 13, 2009  
To Date:Nov 13, 2009

Date:Nov 13, 2009  
Page:1 of 3

Time	No.of Calls Presented/Received	No.of Calls Handled/Answered	No.of Calls Abandoned(Not Answered nor Redirected)	No.of Calls Forwarded due to no Answer(FONA)	No.of Calls Forwarded due to Busy(FOB)	No.of Calls Failed
5555						
00-01	0	0	0	0	0	0
01-02	0	0	0	0	0	0
02-03	0	0	0	0	0	0
03-04	0	0	0	0	0	0
04-05	0	0	0	0	0	0
05-06	0	0	0	0	0	0
06-07	0	0	0	0	0	0
07-08	0	0	0	0	0	0
08-09	0	0	0	0	0	0
09-10	0	0	0	0	0	0
10-11	0	0	0	0	0	0
11-12	2	2	0	0	0	0
12-13	0	0	0	0	0	0
13-14	0	0	0	0	0	0
14-15	0	0	0	0	0	0
15-16	0	0	0	0	0	0
16-17	0	0	0	0	0	0
17-18	0	0	0	0	0	0
18-19	0	0	0	0	0	0
19-20	0	0	0	0	0	0
20-21	0	0	0	0	0	0
21-22	0	0	0	0	0	0
22-23	0	0	0	0	0	0
23-00	0	0	0	0	0	0

Hunt Pilot Name	Line Number
5555	1001
	1002
Total number of MemberDns for 5555	2

277326

## ハントパイロット詳細レポートの結果

ハントパイロット詳細レポートには、次のフィールドが含まれます。表を参照してください。

表 16:ハントパイロット詳細レポートのフィールド

フィールド	説明 (Description)
接続日時 (Date/Time connected)	コールが着信した日付と時刻。
切断日時 (Date/Time disconnected)	コールが終了した日付と時刻。
時間 (Duration)	コールの継続時間。

フィールド	説明 (Description)
発信者 (Calling Party)	呼び出し側の電話番号 (DN)。
受信者 (Called Party)	ハントパイロットの電話番号 (DN)。
最終着信側番号 (Final Called Party Number)	<p>コールが最終的に着信した電話番号。コールがハントパイロットに着信した場合、メンバ DN が表示されます。コール転送がメンバ DN から他の DN に設定されているとします。その場合、コールが転送された DN が表示されます。</p> <p>ハントメンバの番号が表示されるのは、<b>Show Line Group Member DN in finalCalledPartyNumber CDR Field</b> が <b>true</b> に設定されている場合だけです。この値が <b>false</b> に設定されている場合は、このフィールドにハントパイロット DN が表示されます。このパラメータの設定の詳細については、『<b>Service Parameters Configuration in Cisco Unified CM Administration Guide</b>』を参照してください。</p>
着信デバイス名 (Device Name)	コールに応答したデバイスのデバイス ID。
応答したコール (Call Answered)	コールに応答があったかどうかを示します。値は、 <b>Yes</b> または <b>No</b> です。
中断したコール (Call Abandoned)	コールが破棄されたかどうかを示します。値は、 <b>Yes</b> または <b>No</b> です。
応答がないために転送されたコール (FONA) (Call Forwarded Due to No Answer (FONA))	コールが、応答がなかったことが原因で転送されたかどうかを示します。値は、 <b>Yes</b> または <b>No</b> です。
話中のために転送されたコール (FOB) (Call Forwarded Due to Busy (FOB))	コールが、応答側エンドが通話中だったことが原因で転送されたかどうかを示します。値は、 <b>Yes</b> または <b>No</b> です。
失敗したコール (Call Failed)	コールが失敗して通過できなかったかどうかを示します。値は、 <b>Yes</b> または <b>No</b> です。
コール参照 (Call Reference)	コールを追跡するための ID 番号。これは、CDR データベース内の <b>globalcallid_callid</b> 値です。

図 8: ハントパイロット詳細レポート (39 ページ) に、PDF 形式のハントパイロット詳細レポートの出力例を示します。

図 8: ハントパイロット詳細レポート

Date/Time connected	Date/Time disconnected	Duration	Calling Party	Called Party	Final Called Party Number	Dest. Device Name	Call Answered	Call Abandoned	Call Forwarded Due to No Answer (FONA)	Call Forwarded Due to Busy (FOB)	Call Failed	Call Reference
Jul 21, 2011												
8:04:05 PM	8:04:16 PM	0	5000	1300	1300	SEP000E8 4F60285	N	Y	N	N	N	29006
8:05:02 PM	8:05:22 PM	0	5000	1300	1300	SEP000E8 4F60285	N	Y	N	N	N	29007

209659

## 会議コール詳細レポートの結果

会議コール情報は、要約レポートと詳細レポートのいずれで生成するか選択できます。このレポートを PDF 形式で生成すると、コールの詳細情報が表で示されます。次の表に、会議コール詳細レポートおよび会議コール要約レポートのフィールドを示します。次の表を参照してください。



- (注) レポート基準には、会議のタイプ（アドホックおよび/またはミーティング）および From と To の日付範囲が含まれます。

表 17: 会議コール詳細/要約レポートのフィールド

フィールド	説明 (Description)
発信時刻 (Orig. Time)	最初の参加者が会議に入った時刻。
終了時刻 (Term. Time)	最後の参加者が会議から離れた時刻。
参加者数 (No. of Participants)	会議の参加者数。
時間 (Duration)	会議の個々の参加者の継続時間の合計 (秒数)。
デバイス名 (Device Name)	使用されたコンファレンス デバイスの名前。

表 18: 会議コール詳細レポートのフィールド

フィールド	説明 (Description)
会議開始時刻 (Conference Start Time)	会議が開始された時刻。
会議終了時刻 (Conference End Time)	会議が終了した時刻。
接続時刻 (Connect Time)	会議の参加者が会議に接続した時刻。
切断時刻 (Disconnect Time)	会議の参加者が会議との接続を切断した時刻。
時間 (Duration)	会議の総時間数。

フィールド	説明 (Description)
電話番号 (Directory Number)	参加者の電話番号。
コールの分類 (Call Classification)	会議のコールタイプ (内部、着信など)。
デバイス名 (Device Name)	使用されたコンファレンス デバイスの名前。
QoS	Quality of Service。

図 9: 会議コール詳細/要約レポート (40 ページ) に、PDF 形式の会議コール詳細/要約レポートの出力例を示します。

図 9: 会議コール詳細/要約レポート

Conference Call Details - Summary		Date: Feb 24, 2007
From Date: Feb 1, 2007		Page: 1 of 6
To Date: Feb 24, 2007		
Report Generation Criteria - Conference Types: Ad-Hoc, Meet-Me		

Orig. Time	Term. Time	No. of Participants	Duration (sec)	Device Name(s)
Conference Type:		Ad-Hoc		
Feb 7, 2007 9:13:34 AM	Feb 7, 2007 9:13:41 AM	54	378	CFB_2
Feb 7, 2007 10:03:07 AM	Feb 7, 2007 10:03:13 AM	54	288	CFB_2
Feb 7, 2007 10:03:33 AM	Feb 7, 2007 10:03:39 AM	54	324	CFB_2
Feb 7, 2007 10:04:00 AM	Feb 7, 2007 10:04:06 AM	54	306	CFB_2
Feb 7, 2007 10:04:36 AM	Feb 7, 2007 10:04:43 AM	54	288	CFB_2
Feb 7, 2007 10:04:58 AM	Feb 7, 2007 10:05:08 AM	36	360	CFB_2
Feb 7, 2007 10:16:36 AM	Feb 7, 2007 10:16:41 AM	36	180	CFB_2
Feb 7, 2007 10:16:58 AM	Feb 7, 2007 10:17:04 AM	18	108	CFB_2
Feb 7, 2007 10:17:23 AM	Feb 7, 2007 10:17:29 AM	36	216	CFB_2
Feb 7, 2007 10:17:47 AM	Feb 7, 2007 10:17:54 AM	36	252	CFB_2
Feb 7, 2007 10:20:55 AM	Feb 7, 2007 10:21:05 AM	36	360	CFB_2
Feb 7, 2007 10:29:10 AM	Feb 7, 2007 10:29:16 AM	54	324	CFB_2

210708

## 会議ブリッジ使用状況レポートの結果

会議ブリッジ使用状況レポートは、次のフィールドを提供します。PDF 形式を選択した場合、レポートには使用率が表として表示されます。表を参照してください。

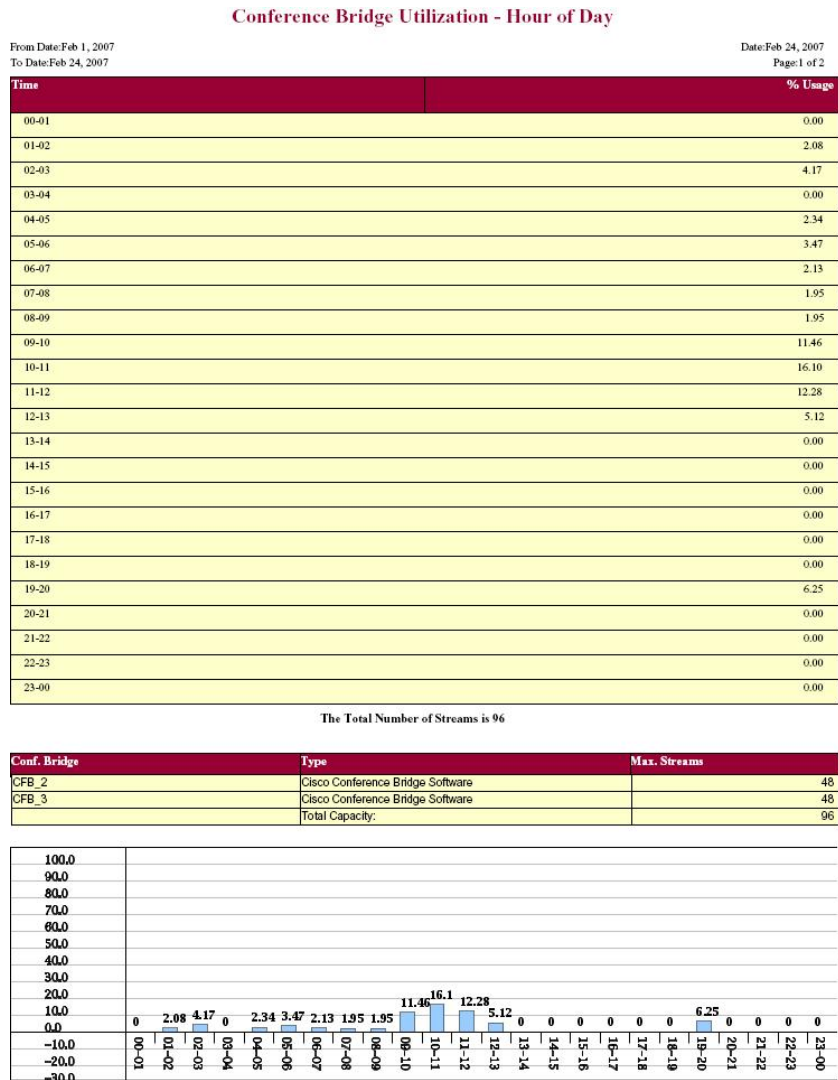


表 19: 会議ブリッジ使用状況レポートのフィールド

フィールド	説明 (Description)
時刻/日付 (Time/Day)	[毎時 (Hourly)] を選択した場合は 1 時間のブロックでの時刻、[曜日 (Day of Week)] または [毎日 (Daily)] を選択した場合は 1 日のブロック。
使用率 (% Usage)	会議ブリッジの使用率 (%)。
会議ブリッジ (Conf. Bridge)	会議コールを開催するのに使用された会議ブリッジデバイス。
タイプ (Type)	ハードウェアまたはソフトウェアの会議ブリッジ。
最大ストリーム数 (Max Streams)	同時に開催できる会議の数 (会議ごとの参加者の人数に基づいて計算)。

図 10: 会議ブリッジ使用状況レポート (42 ページ) に、PDF 形式の会議ブリッジ使用状況レポートの出力例を示します。

図 10: 会議ブリッジ使用状況レポート



## ボイス メッセージ使用状況レポートの結果

ボイス メッセージ使用状況レポートは、次のフィールドを提供します。表を参照してください。

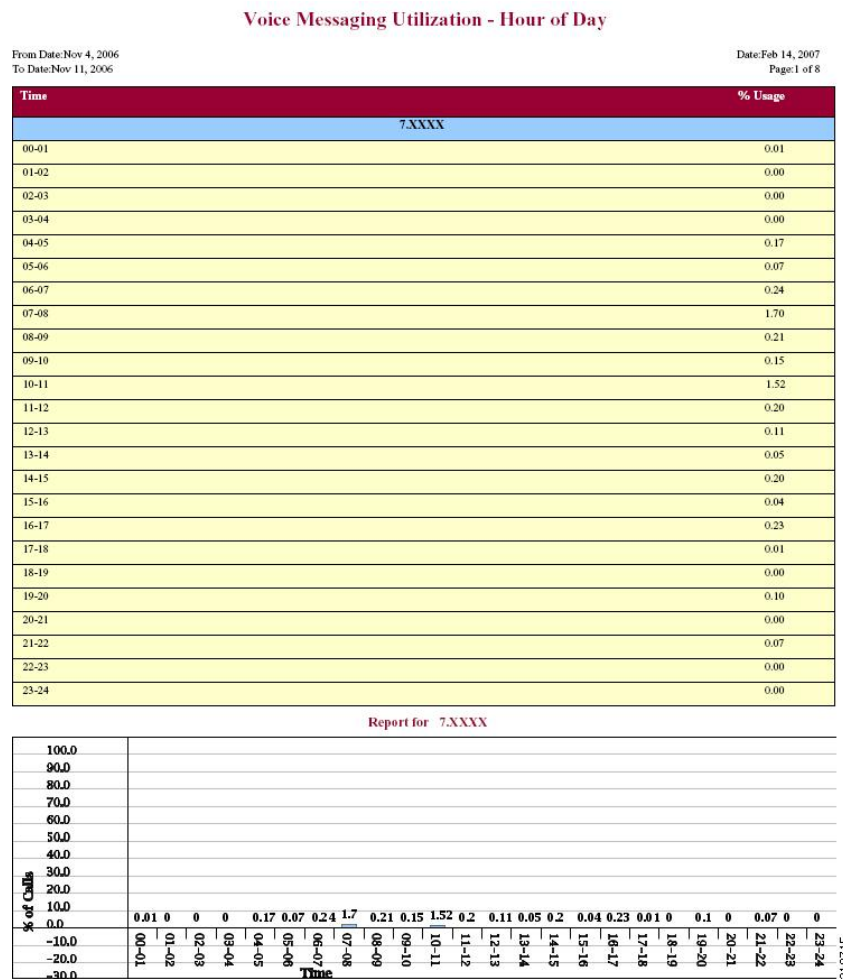
表 20: ボイス メッセージ使用状況レポートのフィールド

フィールド	説明 (Description)
時刻/日付 (Time/Day)	[毎時 (Hourly)] を選択した場合は 1 時間のブロックでの時刻、[曜日 (Day of Week)] または [毎日 (Daily)] を選択した場合は 1 日のブロック。

フィールド	説明 (Description)
使用率 (% Usage)	ボイスメッセージの割合 (%)。
ボイスメッセージングポート (Voice Messaging Ports)	ボイスメッセージシステム用に設定されているルートパターンの下にあるすべてのゲートウェイの最大ポート数と、Unified Communications Manager のデバイステーブル内でタイプクラスが 8 のエントリの合計。
ボイスメッセージングゲートウェイ (Voice Messaging Gateways)	ボイスメッセージシステム用に設定されているルートパターン下のゲートウェイの発信または宛先デバイス名。
ポート数 (Number of Ports)	ボイスメッセージゲートウェイがサポートするポートの数。

図 11 : ボイスメッセージ使用状況レポート (44 ページ) に、PDF 形式のボイスメッセージ使用状況レポートの出力例を示します。

図 11: ボイス メッセージ使用状況レポート



## トランクの使用状況レポートの結果

トランクの使用状況レポートには、次のフィールドがあります。レポートを PDF 形式で表示した場合、使用率が棒グラフで示されます。選択されている各トランクについて、グラフが表示されます。表を参照してください。

表 21: トランクの使用状況レポートのフィールド

フィールド	説明 (Description)
時刻/日付 (Time/Day)	[毎時 (Hourly)] を選択した場合は 1 時間のブロックでの時刻、[週次 (Weekly)] または [月次 (Monthly)] を選択した場合は 1 日のブロック。結果は、開始日と終了日で示された全期間について、各時間または各日の使用率を示します。

フィールド	説明 (Description)
%	トランク使用率 (%)。このフィールドは、デバイスを通過したコールの総数に対するトランクの推定使用率を示します。

図 12: トランクの使用状況レポートの例 1 (45 ページ) ~ 図 15: トランクの使用状況レポートの例 4 (48 ページ) に、PDF 形式のトランクの使用状況レポートの出力例を示します。

図 12: トランクの使用状況レポートの例 1

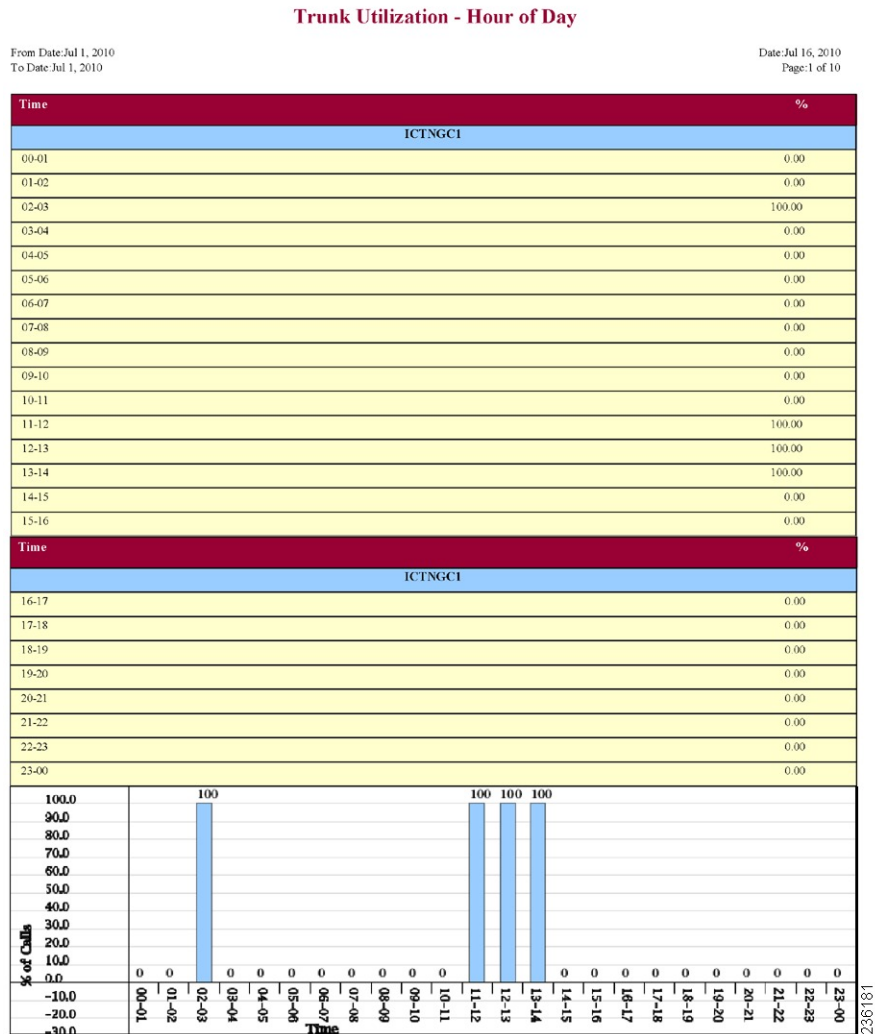
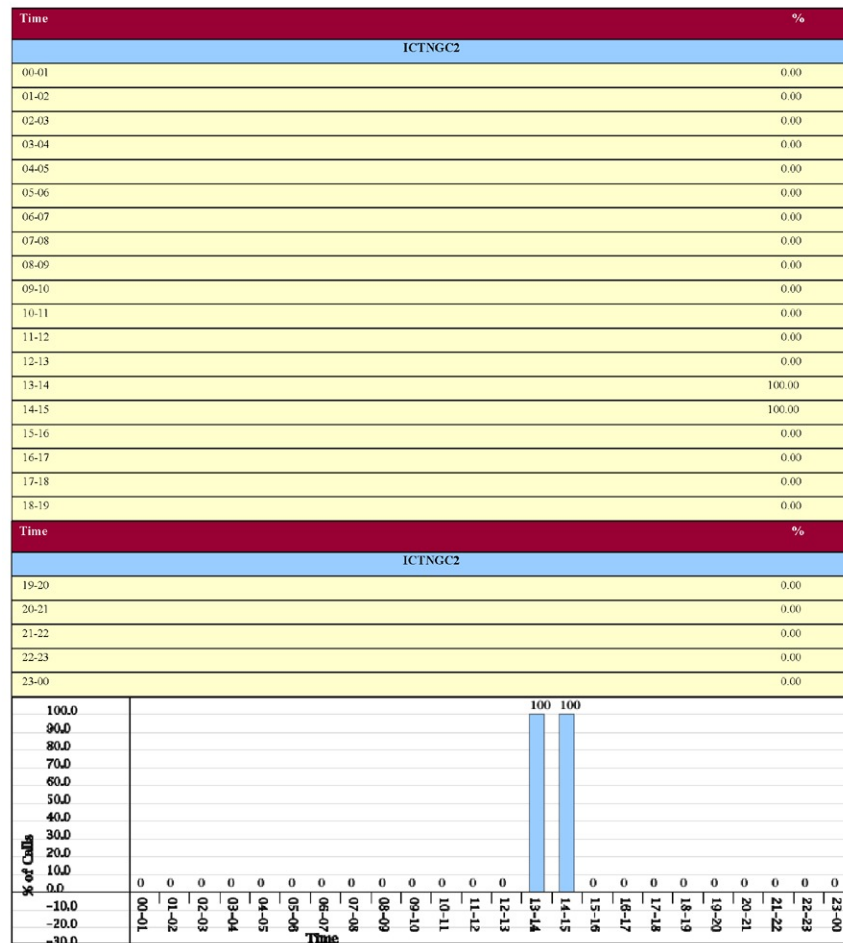


図 13: トランクの使用状況レポートの例 2

From Date: Jul 1, 2010 To Date: Jul 1, 2010 Date: Jul 16, 2010 Page: 4 of 10



236182

図 14: トランクの使用状況レポートの例 3

From Date Jul 1, 2010  
To Date Jul 1, 2010

Date: Jul 16, 2010  
Page 6 of 10

Time	%
SIP1	
00-01	0.00
01-02	0.00
02-03	0.00
03-04	0.00
04-05	0.00
05-06	0.00
06-07	0.00
07-08	0.00
08-09	0.00
09-10	0.00
10-11	0.00
11-12	0.00
12-13	0.00
13-14	0.00
14-15	0.00
15-16	0.00
16-17	0.00
17-18	0.00
18-19	0.00
SIP1	
19-20	0.00
20-21	0.00
21-22	0.00
22-23	0.00
23-00	0.00

% of Calls	Time
100.0	
90.0	
80.0	
70.0	
60.0	
50.0	
40.0	
30.0	
20.0	
10.0	
0.0	
-10.0	
-20.0	
-30.0	

% of Calls	Time
0	00-01
0	01-02
0	02-03
0	03-04
0	04-05
0	05-06
0	06-07
0	07-08
0	08-09
0	09-10
0	10-11
0	11-12
0	12-13
0	13-14
0	14-15
0	15-16
0	16-17
0	17-18
0	18-19
0	19-20
0	20-21
0	21-22
0	22-23
0	23-00

236183

図 15: トランクの使用状況レポートの例 4

Time	%
SIP2	
00-01	0.00
01-02	0.00
02-03	0.00
03-04	0.00
04-05	0.00
05-06	0.00
06-07	0.00
07-08	0.00
08-09	0.00
09-10	0.00
10-11	0.00
11-12	0.00
12-13	0.00
13-14	0.00
14-15	0.00
15-16	0.00
16-17	0.00
17-18	0.00
18-19	0.00
SIP2	
19-20	0.00
20-21	0.00
21-22	0.00
22-23	0.00
23-00	0.00

Time	% of Calls
00-01	0
01-02	0
02-03	0
03-04	0
04-05	0
05-06	0
06-07	0
07-08	0
08-09	0
09-10	0
10-11	0
11-12	0
12-13	0
13-14	0
14-15	0
15-16	0
16-17	0
17-18	0
18-19	0
19-20	0
20-21	0
21-22	0
22-23	0
23-00	0

Trunk Name {Port Number}	Max No. of Ports
SIP2	5
SIP1	5
ICTNGC1	5
ICTNGC2	5

236184



## 翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。